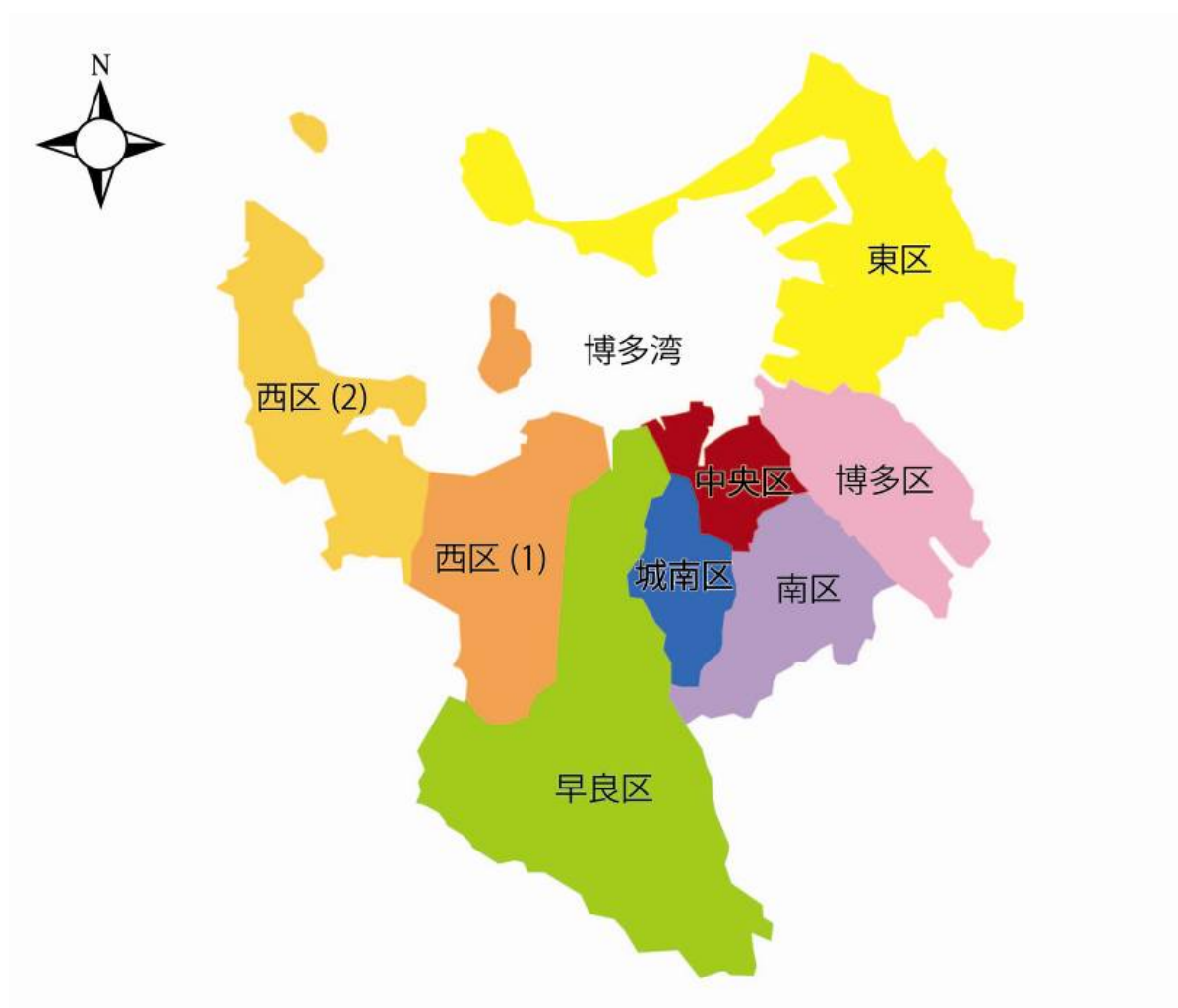


福岡市 生活道路アセットマネジメント 基本方針



平成 26 年 3 月
福岡市 道路下水道局

1. はじめに

福岡市は、総延長約 3,800km の道路資産を有しており、その維持管理については多くの財政負担を要している。近年の厳しい財政状況や、市民の視点に立った満足度の高い行政サービスへの転換が要請される中、平成 20 年 9 月に市全体の考えを示した「福岡市アセットマネジメント基本方針」が策定された。

福岡市道路下水道局では、平成 23 年度に生活道路約 3,000km の舗装や道路付属物の損傷状況調査を実施しており、その調査結果に基づき、アセットマネジメント維持管理手法導入を図るための維持管理手法を検討し、修繕計画を策定した。

生活道路における維持管理手法の基本方針以下に示す。

2. 管理対象施設の概要

生活道路における維持管理手法を検討する管理対象道路施設を以下に示す。

対象道路	対象延長(km)	対象施設
生活道路	約3,000	舗装(車道・歩道)、路肩及び路側、排水施設(側溝・枦・暗渠)、防護柵、区画線等、道路表面にある道路施設

※補助事業は舗装のみ対象

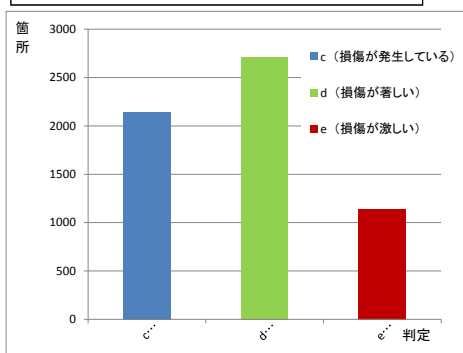
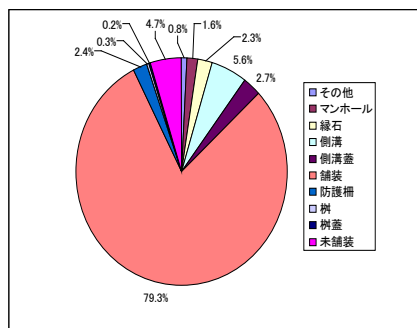
3. アセットマネジメントの必要性と生活道路の特徴

アセットマネジメントは、近年の厳しい財政状況や、市民の視点に立った満足度の高い行政サービスを実現するために、高い管理水準を設け、計画的かつ効率的に施設の修繕を行うものである。さらに、生活道路は、地元住民のニーズ・クレームが集中する中で、道路管理者として迅速な対応およびアカウンタビリティが求められている。

4. 道路施設の損傷特性

生活道路における道路施設の損傷特性を以下に示す。

- 損傷が見受けられた施設は、全市で約 6,000 箇所となっている。
- 損傷の割合は、舗装が全体の約 8 割を占めている。
- 損傷が激しい e 判定は、全市で約 1,000 箇所となっている。



5. アセットマネジメントの導入効果

道路施設の維持管理において、計画的維持補修を行うことによる現状課題とアセットマネジメントの導入効果を以下に示す。

現状	計画的な維持管理	アセットマネジメントの導入効果
・老朽化施設の増大 ・維持管理予算に制約がある ・地域密着型で、地元住民のニーズ・クレームが集中		・道路管理者としてのアカウンタビリティ向上 ・施設の破損・損傷を予防し、機能水準を維持 ・最小限の費用で最大の効果を得るコスト管理 ・財政負担の平準化 ・施設サービスレベルの維持・向上 ・データ定量化、指標化による透明性向上 ・現場管理の迅速化
課題		
・短期的な視点では効果が見えにくい ・財政上の余裕はない ・管理瑕疵責任 ・新規整備事業に比べて後回しになりやすい		

損傷判定区分

区分	損傷の状態
a	損傷が確認されない
b	損傷はあるが軽微である
c	損傷が発生している
d	損傷が著しい
e	損傷が激しい



6. 生活道路の維持管理手法

(1) 管理目標設定

管理目標は、損傷状況調査結果及び道路管理者及び利用者視点を踏まえた要求性能から「損傷が大きいe・d評価の施設について、今後10年間で修繕を行う」ものとした。

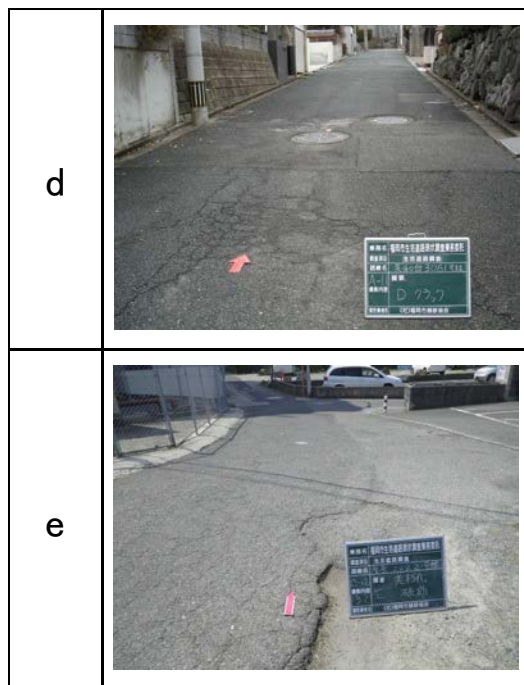
 **e/d評価の施設を10年間で修繕します。**

年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
対策区分	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	e/d	c

e/dランクを優先した対応(10年間)

cランク対応

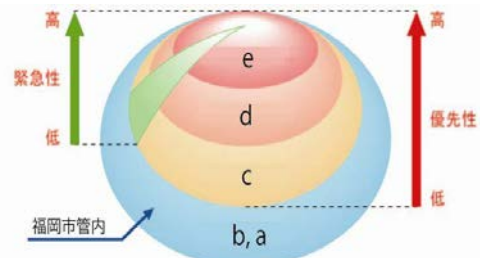
高い管理水準の確保、修繕費用の平準化を実施



損傷状況調査結果

(2) 対応優先度検討

修繕計画策定にあたり、対象とする施設、損傷内容、路面特性などを踏まえた対策優先度評価方法を検討した。



対応優先度の考え方

① 対策優先度評価項目

施設別 要因	評価項目
1. 安全性	・通学路 ・バス路線 ・バリアフリー
2. 利用頻度	・学校、病院、公共施設
3. 用途地域	・住居地域

② 評価

STEP1 e判定の箇所について、配点表に基づいて点数化する。



STEP2 e判定の箇所の点数を路線に集約する。



STEP3 e判定が含まれる路線に、d判定の箇所を含める。



STEP4 点数が高い路線順に並び替える。

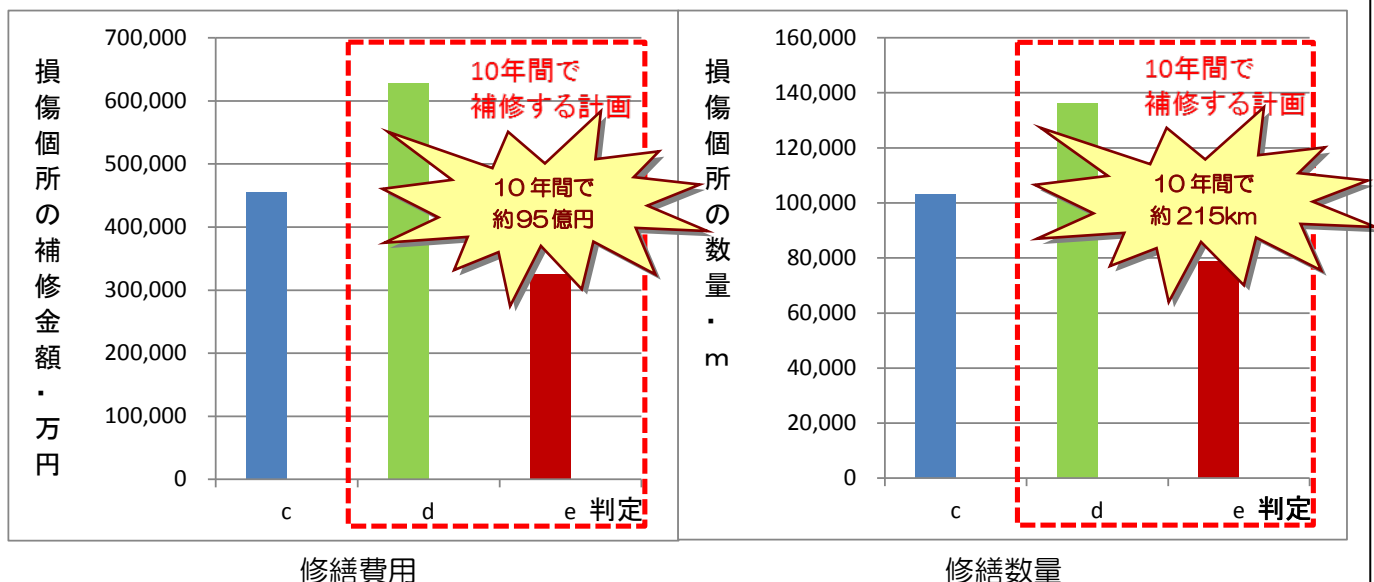
評価手順

対策優先度の評価項目により点数化を行い、点数が高い路線順に並び替えをして、優先度が高い路線から、順次修繕を行います。

(3) 修繕費用算出

検討対象施設の修繕にかかる費用を算出した。

損傷が大きいe・d 評価の施設については、今後10年間で約95億円の修繕費用が必要になる。



(4) 修繕計画策定

上記検討結果を踏まえ、今後10年間の修繕計画を策定した。

市としての修繕目標を検討・設定し、予算の平準化を考慮した修繕計画を策定した。

